

衆議院議員

## 浅野さとし

活動Letter  
No. 12

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年10月号

## 【第197回国会開会】実りのある48日間に

10月24日、第197回国会（臨時）が召集されました。会期は12月10日までの48日間です。前国会に引き続き、経済産業委員会、原子力問題調査特別委員会、災害対策特別委員会に所属することが決定し、党内においてはエネルギー調査会、税制調査会の役員を拝命しました。



10月24日、党エネルギー調査会役員会にて

## 第197回国会提出予定法案（一部抜粋）

## ①出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律案

→外国人労働者の受け入れを拡大するために、新たな在留資格を設け、一部の対象者に事実上の永住を認める。

## ②漁業法等の一部を改正する法律案（約70年ぶりの改正）

→漁業の生産性を高めるために、船のトン数規制から漁獲量による管理に転換し、船の大型化を可能にする。漁業の新規参入・規模拡大を促進し若者の参画を促す。

## ③海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律案

→洋上発電の導入拡大を図るために、促進する海洋区域を指定し、長期にわたり海域を占有できる手続きを創設する。

今国会では外国人労働者の受け入れや漁業法の改正、洋上風力発電、サイバーセキュリティ、そして皇位継承に関する国民の休日の設置など様々な法案が審議される予定です。

48日間、常に緊張感を持って全力で取り組んでまいります。

## 【災害対策】被災者に寄り添った支援策を求める

9月29日から10月1日にかけて非常に強い勢力で日本列島に甚大な被害をもたらした台風24号。被害状況を把握するため、10月12日に農水省からヒアリングを行いました。

地元である茨城県だけを見ても農作物や産業施設への被害が確認され、被害総額は約11億円（10月23日時点）にも上ります。

関係省庁から支援制度の活用を促す通達を出しているとのことですが、速やかな営農再開に向けて、「再建・修繕等に係る補助率の引き上げ」などの被災者の方々に寄り添った積極的な支援が必要です。実現に向けて引き続き、政府に要請してまいります。



10月12日、議員会館にて農水省からヒアリングを実施

## 【プロフィール・略歴】

浅野哲（あさのさとし）。1982年9月25日生まれ（36歳）。青山学院大学大学院修了。

（株）日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

## 2019年税制改正に向けたヒアリングを実施しています

国民民主党として2019年税制改正に向けた税制要望のヒアリングを実施しています。  
10月25日にはJEC連合の皆さん、30日には生保労連の皆さんからのご要望を伺いました。



10月25日、JEC連合の皆さんから要望書を手交



10月30日、生保労連のみなさんとの意見交換

JEC連合は石油や化学物質を多く取り扱う業界分野であり、働く人々の安全管理はもとより原料の安定した供給体制の構築も国が果たすべき責任だと考えます。また、生保産業においては人生100年時代の到来に伴い、個々人が加入する保険制度の基盤強化が重要な課題です。

今後、各団体の皆さまからもヒアリングを行わせていただいた上で、ご要望頂いた内容を今後の税制に反映できるよう、党税制調査会の役員として取り組んでまいります。

## BS-TBS「報道1930」に出演しました

初めてのテレビ出演として、10月29日、BS-TBSの「報道1930」に出演させていただきました。

他党の若手議員の皆さんと約90分間、「総理所信演説」、「与野党の代表質問」、「国会のあり方」等について率直に意見交換を図りました。

身近な政治、信頼できる政治をめざし、ありのままの国会の姿をお伝えしていけるように取り組んでまいります。



10月29日、スタジオにて



【浅野さとしからのメッセージ】

11月は、臨時国会対応のほかにも、来年度予算編成に  
おける、様々な業界・団体の方々からのご要望を頂きます。  
1つひとつの声をしっかりと伝えるため、誠心誠意取組  
みます。

浅野さとし

皆さんの想いを是非、お聞かせください！

【連絡先】

衆議院議員 浅野哲 国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館406号室

Mail : g17398@shugiin.go.jp

Tel : 03-3508-7231

Fax : 03-3508-3231